

公民館だより

No. 103

ひがしの

2008. 5. 15

人口 1856 人
(男) 920 人
(女) 936 人
世帯数戸 605
(H20.5.1 現在)



水墨画による 『ばれいしょの花』

楽しい墨絵の会 会員 林 泰子 画

泰子



ばれいしょは、南米アンデス山脈の高地が原産といわれる。16世紀、スペイン人によりヨーロッパにもたらされた。日本には、1600年ころにオランダ船によりジャカルタより運ばれた。当時は、鑑賞用として栽培された。

—Wikipedia

寄稿

20 年度振興会長就任にあたって

東野開発振興会 会長 遠藤龍美

新緑がまぶしい、日本一の故郷！それが東野です。この度、このようなすばらしい東野で、今回大役を受けることになり、自分のことしかわからない無知な私はとまどいながらも、時期遅し、決断しました。

24 自治会の推進委員の方々には連日のごとく来訪していただき、強い推薦の中で、およばぬ自分に悲を感じながらご返答することとなり、大変御迷惑をおかけしました。

お受けしたからには、責務の重さを感じつつ、各地域より選ばれた理事の方々を信頼し、仲良く遂行していきたく思います。

さて、先人先輩達が築き上げ守ってきたださった、このすばらしい自然環境はまさに日本一です！感謝しなくてはなりません。現在私たちの手で汗を流して伝統を守って後世に伝えたいと思います。それが東野住民の皆さんの責任責務であると思います。

例えば、交通便利性について、中央インターより 10 分、諸官庁より 10 分、商店街より 10 分、国道 19 号より 10 分、恵那駅より 10 分。立地条件はまさに日本一です。しかし、残念という字を書きたくないですが、少子高齢化はこのすばらしい立地条件にある東野の中では進みすぎているように思い、残念に思います。東野小学校（1 年から 6 年）現 89 名。60 歳以上 600 名。毎日、新聞・テレビでさわいであるように、特にガソリンの高騰、高齢者対策、そし

て残虐な諸事件が相次いでおります。

このせまい日本の中、高速道路をどんどんつくり、車は一人一台の時代。家の中は所せましと電気製品の山。そのために働かなくてはならなくて、地域交流をするひまがない。長寿の世の中、元気で長生きして、自宅で家族と共に暮し自宅で永眠できれば……。

小学校の校庭では、消防団の訓練に毎年メンバーがかわり、県大会めざして練習にはげんでおられます。先輩の指導のもと、自分の仕事もあり大変だと思えますが東野の若い力です。きびしく規則正しく、仲良く、より一層の人的成長につながるであろう。

又、毎週土曜日は、スポーツ少年団の活動。数少ない団員ではありますが、今迄以上に増員され、練習にはげんでいます。コーチと親が一体となり、汗を流す姿は大変美しいです。そして、全員の子ども達が東野に残ってくれることを願いたいものです。

心温まる相互友愛と健康第一の東野であることを世の中に発信したいものです。

私共役員は東野発展のためにつくしたい。特に住民の皆さんにお願いすることは、年間の諸行事には、一人でも多くのご参加を望みたいものです。永住するには隣近所が一番大切ですし、催事は地域交流の原点だと思っています。

安全・安心の村づくりにも努めていきたいと思えます。役員一同、今後ともよろしく御指導の程お願い申し上げます。

寄稿

東野生産森林組合長 藤田計明

この度、東野生産森林組合長を拝命致しました藤田でございます。

現在の森林を取り巻く状況は、非木材系建築資材の進出、製材品を中心とした輸入木材の増加等、非常に厳しい状況にあります。

また、長期的立木価格の低迷、生産コストの上昇等で、収益の低下をもたらし、林業生産活動の停滞となっております。

しかしながら、近年、木材の利用上、重要な位置を占める木造住宅建築分野において、耐震、耐久、高気密、高断熱性といった木材の性能が重視されるようになってきました。

一方で、環境問題として、炭酸ガス、水資源、健康としての森林浴など、山と森林が見直されつつあります。東野には、先祖、先人が大変努力され、育てられました立派な育成林があります。

今後先人の努力に報いるために、優良な立木の育成などの森林経営と保全に向けて、先輩諸氏のご指導を得て役員一同取り組んでいきますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



寄稿

東野東雲連合会 会長 土方久博

平成二十年度もはや一カ月が過ぎ、四月二十五日に総会も無事に終えました。いよいよ活動を開始する時がきました。今まで東雲会との係わりをあまり持たず、力も無い私としましては、では、何から始めたらよいかがよく分かっていないのが現状です。

昨年まで先輩達が築いてこられた活動を踏襲しながら、会員の皆様の声に耳を傾けて、少しでも発展させる事ができたらと考えています。

これからは少子高齢化の時代だと言われます。小学校の児童数も四・五年前に百人の万台を切ったかと思つたら、今年は九十人を切りました。一方、私どもの東雲会は六百人を超え、東野の人口の三十三%になりました。

こうした時代に私達はどう対応していつたらいいのでしょうか。

子供を増やすわけにはいききません。数少ない青少年を健全に育てることが大切だと考えます。

新聞やテレビの報道を見ていると、今の若い世代の人達の中に、殺人や自殺といった命の軽視傾向が見られます。私達は戦争のために、命とぎりぎりのところで対峙した時代を生きてきました。この人生経験を語り伝えることができたと思います。

また、幼稚園や小学校の子供たちとの関わりを大切にしていきたいと思っています。登下校時の安全への気配り、土・日曜日の生活への支援、命の大切さを伝えることは私達の勤めだと思っています。

もう一つ、地球温暖化を中心にした環境問題があります。

私達の子供時代は、この自然豊かな東野の地にあって、山で小鳥やウサギを追ひ、木の実を拾ひ、茸を採り、

川で魚を取り、泳いで遊びまわりました。故郷とはこうした体験があつての故郷であります。

そうした思い出を持たない子供たちが、東野を離れ都会へ出た時、ふるさとを懐かしみ、もう一度帰りたいと思うでしょうか。

今の時代、昔と同じ体験をさせてやるわけにはいきません。しかし、もつともつと地域の自然や伝統・文化に触れさせてやりたいと思うのです。

これらの問題は大きすぎて、一度に改革することはできません。会員一人ひとりが家庭で、地域で、子供達と上手に関わつて下されば東野全体が変わつてくると考えます。

人口の三分の一を占める東雲会の会員が、自分の考えや経験を振りかざすのでなく、次の世代を育てるための知恵として使つていただければと思います。

振興会を初め地域の皆さんの指導・協力を、合わせてお願いして挨拶とさせていただきます。

寄稿

恵那市消防団東野分団 団長 小木曾弘明

本年度より恵那市消防団東野分団の分団長を拝命しました小木曾弘明です。

私は平成13年に一度退団し今回再入団ということ、8年ぶりの復帰となりました。

8年たつてみると団員の顔ぶれも大きくかわり同じ東野に住んでいても知らなかった若い世代の団員が多く見受けられます。

また、在籍当時はこの分団も第3分団と呼んでいましたが、今は東野分団となり名も変わったとのこと、隔世の感があります。

最近の東野分団は操法でも、合併後3回の大会中2回の優勝と優れた成績を残し、他分団からも一目お

れており在籍している団員を始めとして退団された諸先輩方に敬意を表します。

同時に今年度の選手を始めとして皆、今年の大会もプレッシャーを感じておりますが一生懸命練習に励んでおります。

話しは変わりますが今回、分団長辞令を消防団長よりいただいた翌日、浜井場で建物火災がありこれからの2年間心配な心持でもあります。しかし、火事現場でも団員の多くの的確に消火活動に当たり平日にもかかわらず多くの団員が鎮火後の警戒に待機してくれて心強く感じました。

消防団とは、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神のもと、地域の安全安心を守るため地域社会に貢献する市町村の消防機関のひとつであり、そしてほとんどの市町村に設置されており、江戸時代の火消し「いろは48組」が起源らしいですが、「自分たちのまちは自分たちで守る」という崇高な理念を持ちつつ、仕事を持ちながら災害時には、常備消防と協力して防災や救助活動に取り組んでおります。当然、災害防除や放水などの出動は、通常の勤務時間外となり団員の精神的・肉体的負担は大きく、家族の支援や職場の皆様の理解に支えられて活動しております。団員の多くがサラリーマン化している現在、その任務・活動は過酷なものとなっておりますが団員一丸となつて「住民が平和で安心して暮らせるまち東野」を目指し日夜努力しております。団員の活動中の事故を防ぎ、安全な消防団活動が出来るよう分団長として精一杯努力して参りますので、「ご家族を始めとして団員が勤務しております各事業所の代表者また御同僚の皆様、住民の皆様のご支援・協力をお願いし挨拶とさせていただきます。

東野地域各種団体役員名簿

平成二十年度の団体役員の方々です。
 ～苦勞様です、よろしくお願ひします。
 (今年度改選分のみ)
 5月10日現在

環境委員	交通安全委員	体育委員	青少年育成推進員	自治会長	自治会名
光岡 雅之	今野 彰夫	西尾 慶穂	光岡 雅之	光岡 雅之	小の川
西尾 雅幸	勝 重男	長谷川核三	西尾 雅幸	西尾 雅幸	上浜井場
田口 豊太	渡辺 幸典	篠原 政清	田口 豊太	田口 豊太	下浜井場
伊藤 博志	若尾 義弘	猪野 幸男	伊藤 博志	伊藤 博志	中 辻
依馬 八郎	伊藤 稔	依馬 博文	依馬 八郎	依馬 八郎	下 辻
宮田 政勝	小坂 喬峰	小栗千津子	宮田 政勝	宮田 政勝	白 坂
太田 昭夫	土方 友秀	伊藤 康弘	太田 昭夫	太田 昭夫	北万場
土方 利克	夏目 克彦	土方 利克	土方 利克	土方 利克	南万場
永野 憲男	光岡 富義	西尾 幸也	永野 憲男	永野 憲男	井の下の
長谷川勝美	渡辺 忠義	渡辺 忠義	加藤 浩恭	長谷川勝美	小 田
足立 義一	三宅 一彰	梶田 博己	松本 広英	足立 義一	北中切
伊澤貴四郎	伊藤 憲治	藤井 昭郎	伊藤 昌美	伊藤 昌美	南中切
渡辺 裕之	千藤 敏昌	市川 茂	渡辺 裕之	渡辺 裕之	向 島
鈴木 耕司	千藤一二三	岡本 和久	奥野 栄司	奥野 栄司	下 沢
千藤 茂夫	西尾 真二	千藤 茂夫	千藤 茂夫	千藤 茂夫	中 島
伊藤 宮夫	平井 仁	千藤 隆也	伊藤 宮夫	伊藤 宮夫	南天王前
伊藤 正宏	伊藤 正宏	小林 一雄	千藤 満	伊藤 正宏	北天王前
伊藤 明	千藤 重明	藤田 敏昌	伊藤 明	伊藤 明	上 染戸
藤田 政直	篠原 洋三	永野 憲昌	藤田 政直	藤田 政直	上 染戸
水野 稜三	鈴木 栄二	金子 公司	小林 正人	小林 正人	南大門
竹之越輝彦	渡辺 五月	足立 公夫	竹之越輝彦	竹之越輝彦	南大門
堀江 直明	長谷川岩夫	丸山 公昭	堀江 直明	堀江 直明	上 大門
西尾 和己	伊佐地明人	伊佐地明人	西尾 和己	西尾 和己	下 大門
不破 庸夫	西尾 泰博	山内 洋二	不破 庸夫	不破 庸夫	宮 前
					北 山

東野開発振興会

会長 遠藤龍美
 副会長 藤井宣勝

理事 金子孝文
 伊藤秀夫
 工藤正司
 中嶋則善
 永野 晋
 三宅勝義
 渡辺五月
 渡辺忠明
 西尾典悟
 渡辺一正

監事 渡辺一正

東野自治連合会

連合会会長 遠藤龍美
 副会長 藤井宣勝
 金子孝文

東野生産森林組合

組合長 藤田計明
 副組合長 古山多津男
 市川治之
 伊藤宮夫
 西尾敏博
 西尾昌由喜
 長谷川久雄
 伊佐地邦久
 渡辺守正
 伊藤正樹
 岡本勝英
 林 源幸
 足立幸秀

理事 鈴木久博
 鈴木 保

監事 鈴木久博
 鈴木 保

東雲連合会

連合会会長 鈴木久博
 副会長 鈴木 保

婦人部長 伊藤 智

書記・会計 千藤昌美
 会計監査 依馬和昌
 吉村茂夫
 伊藤康隆
 田口美智子
 堀 秀平
 長谷川さなえ
 土方久博
 土方紀代子
 市川宏明
 伊藤美恵子
 千藤昌美
 伊藤 智
 鈴木 保
 市川三千子

第一東雲会長 伊藤康隆

第二東雲会長 堀 秀平

第三東雲会長 土方久博

第四東雲会長 市川宏明

第五東雲会長 伊藤美恵子

第六東雲会長 鈴木 保

東野民生児童委員 遠藤茂樹
 松本広英
 渡辺泰江
 千藤恵三

東野主任児童委員 鈴木みゆき
 土方陽子

消防団東野分団 分団長 小曾弘明
 副分団長 西尾泰俊
 遠藤美孝
 古川暉久
 渡辺浩樹
 和田義樹
 林 直行
 伊藤 享
 市川智也

部長 鈴木久博
 鈴木 保

市青少年育成推進委員 千藤真理子
 伊藤仁午

東野体育協会 会長 渡辺幸典
 副会長 千藤富久
 古山千鶴子

テレビ共同受信組合 組合長 岡本和久
 副 伊藤和平
 伊藤宮夫

子ども育成会 会長 千藤敏博

小学校PTA 会長 小曾弘明
 副会長 三尾元則
 土方妙子

幼稚園PTA 会長 古澤 英樹
 副会長 伊藤 隆史

交通安全協会東野支部 婦人部長 長谷川清恵

(敬称略)



東野愛林碑祭典

とり行われる。

4月13日12時30分から、公民館前の愛林碑の前で祭典が執り行われ、東野生産森林組合役員、各自治会長、消防団東野分団員が参列、東野諸団体の代表者が来賓として招かれて、厳かに進められました。



宮司さんの祝詞につづいて、各代表者による玉ぐし奉天、そして光岡会長さんが次のように挨拶されました。—前後略—

「今年はサミットが日本で開催され、環境問題が最も論議されると思いますが、山林のもつ二酸化炭素の浄化能力は計りしれないものがあると伺います。緑を愛する愛林の業は私どもに定められた役目ではないかと思ひます。材価は何年来上昇の兆しが無いわけですが、先輩から引き継いだこの山林を守るといふ大切な責務を、上組・下組生産森林組合と手を取り合いながら務めてまいりたいと思ひます。

今年度は、東野生森も役員の交代の時期に当たりますが、この精神を次の役員に引き継いでいきたいと思ひます。」



東野戦没者慰霊祭

開催される。

4月13日13時30分から、東野慰霊塔前で祭典が執り行われました。

開発振興会、東野自治連合会が主催し、戦没者ご遺族の方々、三宅恵那市副市長さん、市川恵那市遺族会会長さん、伊藤郷友会会長さん、東野諸団体の代表者、消防団東野分団員の方々が参列して桜花の舞うなか厳かに開催されました。



開発振興会会長の千藤さんが次のように、式辞を述べられました。—前後省略—

「先の大戦により60数年の歳月が過ぎました。あの熾烈を極めた戦争の中で、御国のため、故郷、父母、妻子に心を参じながら遠い異国の地、又内地に於いても尊い命を絶たれた百十一の御柱の方々を思い、深い悲しみを新たに致します。

満州、中国大陸に、又南方の小島に於いて、祖国、故郷と家族の無事を思い、感じられたことを、今年3月、今は英霊となられた方々が郷土の友に送られた軍事郵便を目に致しました。厳しい検閲の中で東野での繭の値段、秋の穫り入れ、秋の実り、麦蒔き、家族の状況を1枚1枚のハガキの中に故郷への思いを深く抱いておられます。庭のアーチの中、日の丸の旗の中で送られた吾が夫、吾が子、兄弟の悲しい知らせを受けなければならなかったご家族の皆様。この悲しみはどれ程の時を経ようと、消え去るものではありません。ご家族の皆さんのご心中を察しつつ謹んで哀悼を申しあげます。」来賓のみなさんの式辞のあと、

参列者の献花がおこなわれ、全員で「故郷」を合唱し、東野戦没者遺族会会長の伊藤宮夫さんがお礼の言葉を述べられて、閉式となりました。

東野開発振興会通常総会開催される。

4月27日東野公民館で行われ、提出議案が全て承認され、新年度の事業がスタートすることになりました。本年度は、役員の改選期にあたり、丸山公昭役員推薦委員長始め24名の推薦委員が、何回も協議と推薦活動が行われ、会長候補の遠藤龍美さん始め各自治会から選ばれた11名の役員候補者を総会で推挙し、承認されました。

会議は順調に進行し、千藤恵三現会長の挨拶につづいて議事にうつり、19・20年度の事業・会計を審議し承認されました。新役員の承認後、新会長の遠藤龍美さんが次のようにご挨拶されました。

「私のようなものに、24地区の皆さんに昼夜に渡って勧誘・推薦をしていただきました。昨今にみられる少子高齢化社会での厳しい世の中ですが、東野を自然豊かで楽しい村にしていきたい。」

そしてこのことを外に向けて発信していきたい。皆さんと共に、しっかり相談して諸事を遂行していきたい。ご声援・指導をよろしくお願いいたします。―前略―



東野生産森林組合第37回総会開催される。

5月1日(木) 東野公民館で行われ、提出議案全てが承認されました。光岡克昌前組合長は挨拶の中で次ことを主に話されました。

①一昨年から行ってきた恵那農業高校環境科学科の生徒の野外実習で組合役員の指導のもと、枝打ち実習が行われた。②地域の森林をあげるものとして、地域の子どもたちに森林の啓蒙活動を行う目的で過去6年継続されてきた、東野小学校卒業生による卒業記念植樹が、3月17日17名の児童によって行われた。③東野地域協議会が11月11日に東野の環境整備として不法投棄物の一斉撤去を行ったとき、特に生産森林組合に関係することとして、県道東野・中津川線の林間学校付近の道路筋に不法投棄物が多く、投棄物の撤去を行ったあと、上組生産森林組合とも相談の上急遽、択伐地域を変更して林間学校付近の択伐を行うことでゴミの不法投棄が一切無くなった。④平成20年度事業として、林間学校付近の先輩たちが築いてこられた檜を産出し、間伐材促進法事業として確保し、展示施設をつくることを提案していること。



(阿木川湖畔に展示を兼ねた施設をつくるよう地域協議会、市・県と相談しながら今後の事業としていく。) ⑤地域防犯パトロールを行うことから、17年を経た生森の車を更新してパトロールにも役立てていただいた。

最後に役員の改選が行われ、伊藤宮夫推薦委員長から新役員が推薦され承認されました。5月10日の生産森林組合役員会で藤田計明組合長等の役員が決まりました。

東雲会総会が4月25日(金)、東野公民館で開催される。

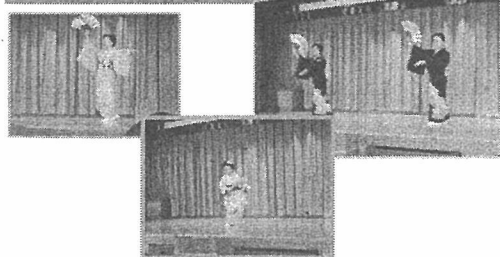
東野公民館で開催される。

会員107名の参加者と各界11名の来賓の出席得て、総会が行われ、新しい役員が承認されました。

新会長の土方久博さんは「東雲会の全てが自分たちでできるのではなくて、東野振興会などのご援助をいただきながら、いろいろとやって行こうと思っております。」

皆さんがたのお力をいただいて、例年以上にいろいろな行事、いろいろな活動ができたらいいな、と思っております。ボランティアあるいは、我々の健康と幸せ増進のために、皆さんのお力をお借りしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。―前部略―とご挨拶されました。

総会の議事に続いて懇親会がもたれ、会食にささゆり会の華麗な踊りが花を添え、カラオケを交えて楽しいひと時もたれました。



四季デッサン会作品展が開催される。

東野在住の伊藤隆司さん、渡辺英子さん、若尾義弘さん、そして東野出身の山本修身さんを含めて、11人の会員からなる四季デッサン会の作品展が、3月14日から16日まで、恵那文化センターで開催されました。

この会は20年の歴史をもち、特に指導者をもたないで、会員が互いに教え合っている。

絵の基本である人物のデッサンを大切にして、恵那市中公民館を活動拠点として毎週水曜日の午後7時から活動しております。

「興味・関心のある方は非ご参加下さい。」とおられました。



山本修身さん、渡辺英子さん。
英子さんの作品「アトリエ」の前で。

取材ができた2名の方の作品の各1点を紹介します。

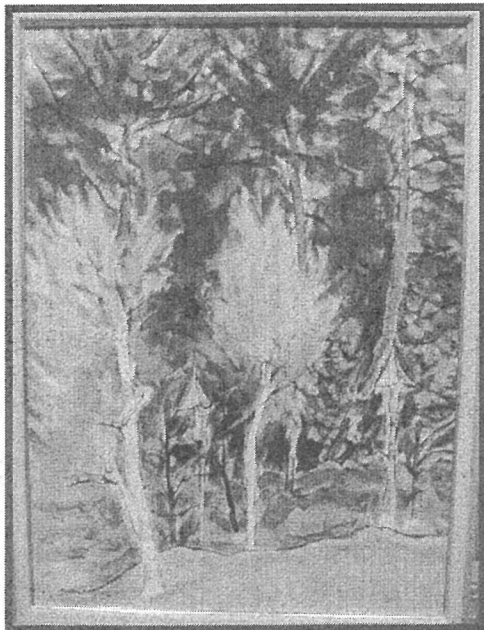
画題 夏の朝

渡辺 英子さん



画題 松林

山本 修身さん



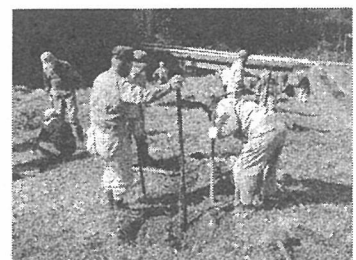
えな斎苑にさくらの木が植樹されました。

平成20年4月4日(金)

東野公務員OB会(伊藤郁雄会長)の会員25人が午前中、会の奉仕活動で、伊豆の川津さくら(早咲き)26本を植樹しました。

斎苑入り口脇の約1000㎡余りの用地にすでに有志によって掘られた植え穴に堆肥を入れさくらを植えて支柱を立てました。

さらに会長の手配によるネムの木5本も隣接の盛り上がった土手に植えられ、周囲の景観を飾ることに、数年後の開花が待たれます。



東野小学校の伝統を守り発展させるために

東野小学校 校長 今村光登志

このたび縁あって岐阜市の木田小学校から東野小学校に着任させていただいた今村光登志（いまむらみつとし）と申します。自宅（住んでいた所）は山県市（やまがたし）ですが、これまでの勤務地は、ほとんどが岐阜市でした。かつて東濃に勤務したことのある先輩校長から、「東濃は人情味があつたいい所やで！」という電話がありました。着任してみても、その言葉が本当であつたことをしみじみと感じているところです。初めての東濃地区勤務です。精一杯がんばりますので、どうぞよろしく願ひいたします。

さて、せっかくの機会ですから、本校のこれまでの印象をふまえ、私なりの目指すべき学校像を紹介させていただきます。

「学校は勉強するところ」・・・「学力をつける」ためにがんばります。

国際比較の中で、学力の低下傾向が指摘されています。どの子にも確かな学力（「知識・理解」だけでなく、「学ぶ意欲」も含む）をつけることが、学校教育に課せられた最大の課題です。もとより、明治の学制発布以来、「学校は勉強するところ」というのが根底にあります。事実、学校で過ごす多くの時間は「授業」です。この授業中にきちんと学習を成立させ、どの子にも学力をつけるように努力することが学校の大切な使命です。

今まで以上に学力をつけようとするとき、学習に集中する姿勢（学習基盤）ができていないことが大切ですが、本校は「学ぶ雰囲気」に十分に満ちた学校です。どの教室を訪れても、子どもたちは静かに先生や仲間の話を聞くことができます。また、学年始めにも関わらず、多くの子が挙手し、課題を解決しようと積極的に発言しています。こうした日々の授業のすばらしい状況を今後

も大切に、更なる学力の向上を目指していきます。

本年度は学力をより定着させるために、「ドリル学習」に力を入れます。毎週一回、月曜日に短時間の「特設時間」を設け、継続的に努力する予定です。子どもたちもこの取り組みに応え、がんばってくれることでしょう。

「学校は集団生活の場」・・・「規律と活力のある学校」を目指します。

今の子どもたちは、「規範意識」が欠けていると言われています。社会生活のルールが守れない、挨拶などの基本的生活習慣が身に付いていない等が指摘されています。自分ひとりで生活してはいるわけではないのですから、他人と協調したり、思いやりの気持ちを持つたりすることが必要です。また、途中であきらめないで粘り強く行動する力も大切です。

本校の子どもたちは挨拶がよくできます。「おはようございます」だけでなく、

く、「こんにちは」もよく言えます。授業開始時刻や集会の集合時刻もきちんと守れます。掃除の時間には、見つけ掃除を行い、時間いっぱい分担当所で働くことができます。集会等で集まった時には、誰一人として無駄口をしていません。また、話す人の方を向いて真剣に聞くことができます。

それだけでなく、朝活動（運動や集会）の時など、前に出て話す子の声はとも大きくて元気があります。どの子もよく練習して臨んでいます。引き続き、小規模校だからこそできるきめの細かい指導で、ものおじしなで人前で話す力をつけ、「自信」をもたせるようにしていきます。

こうした状況は、「当たり前のことが当たり前にできる」「正義が正義として通じる」「自分の考えや主張を堂々と話すことができる」等、本校の「規律と活力のある学校」としてのすばらしさを物語っています。是非「伝統」として守り発展させていきたいと考えています。

「子どもは地域の宝」・・・「開かれた学校」を目指します。

地域の皆様の力をお借りし、豊かな体験活動を積極的に取り入れていきます。クラブ活動、田や畑の栽培活動等、地域の皆様にお世話になり、体験的な学習を推し進めていきます。また、地域の文化財や施設等にも進んで出かけ、自然や環境、福祉に関わる問題等への関心を高めたいと考えています。こうしたことで、子どもたちに活力を与え、学校そのものの活性化させることができます。考えています。そのために「開かれた学校」を目指します。

東野に育つ子は、東野地域の「宝」です。東野を知り、東野の良さを味わい、東野の人々と触れ合う中で、将来の生き方を考えていきます。子どもたちは、こうした体験を基にし、「故郷（ふるさと）東野」を愛し、「故郷（ふるさと）東野」で育つたことを「誇り」にして生きていくことでしよう。これまでと同じように、東野に生きる子どもたちのために、家庭や地域と連携した学校運営を推進していきます。

「一部教科担任制」・・・「教師の良さを生かす学校」を目指します。

今まで積み上げられてきた本校の伝統や文化を大切に、本校職員の良さと持ち味を生かし、創意と工夫を凝らした教育を推進したいと考えています。とりわけ、本校は先進的に各教師の得意分野や専門性を生かした一部教科担任制を取り入れておられます。そのために、教科担任制を目的とした加配教員も配置していただいております。こうした取り組みは、学級担任だけでなく、全校の教師が全校の児童に関わることを可能にするものでもあります。

本校職員の持ち味を生かし、全校の職員で、全校の子どもたちに関わっていく体制を堅持し、全力で子どもたちのためにがんばっていく所存です。

最後になりましたが、地域の皆様、各種団体の皆様に引き続きご支援ご協力を切にお願い申し上げます。着任のご挨拶とさせていただきます。

平成20年3月25日、平成19年度東野小学校卒業証書授与式が挙行されました。

9時から約1時間30分、厳肅な中にも、卒業生の答える声が大きく体育館に響き、長時間にもかかわらず、1年生から6年生まで、実にお行儀よく集中できたすばらしい卒業式でした。

磯村校長先生は式辞で次のようにお祝いのことを述べられました。『17名の皆さん、卒業おめでとうございます。あなた方とは5年生の時初めて出会って、それから2年。あなた方の活躍と成長は、私の楽しみでした。特にこの一年間、東野小学校の最上級生としてすばらしい姿を示してくれました。』

あなた方の活動は在校生に伝わり、東野小学校全体の動きになりました。あなた方の働きのおかげで学校全体に思いやりの心と、より意味あるものを求めようとする気持ちが更にみなぎってきたように思います。

「心を合わせ、力を合わせ、91人」、このスローガン。あなた方は、全体のリーダーとして、仲良く協力して取り組むことと共に、人を傷つけ人を悲しませることを追放することに取り組んでくれました。お互いの違いを認め、心を通わせ、仲良く力を合わせ、お互いを活かして生活する。思いやりと元気に満ちた学校になるよう働きかけてくれました。おかげでこの一年間は、一年を通して、ほとんどの日が全員登校全員出席。授業でも休み時間でも、元気な声が教室に運動場に響きわたりました。

今年二月、東野小学校が「人と人の、心と心のつながり」思いやりを大切にしている学校として、岐阜県人権同和教育協議会から表彰されたのは、何よりも素

晴らしく、誇りとできることです。

今日日本の社会は君たちを待っています。君たちが大きく成長し、持てる力を発揮し、さまざまな問題を克服し、より良い社会人になることを期待しています。』
(途中略の箇所あります)

卒業生と在校生間のお別れの言葉では、全校91名の児童全員が少しずつ言葉を担当して、全児童が送り送られる言葉を交わす光景に涙する人が多く、思い出深い卒業式でした。



平成20年3月21日、平成19年度東野幼稚園修了証書授与式が挙行されました。

みどり組5名のみなさん、ご卒園おめでとうございます。

厳肅さの内にもなごやかさが漂う中、修了証書が足立園長先生から授与されると、きも、園児とは思えないほどに堂々とした立ち居振る舞いで、参列者の賞賛しきり、さすがは東野園児と思うひと時でした。

足立園長さんから、『みどり組のみなさん、ご卒園おめでとうございます。一人ひとりの元気のよい返事が、いよいよ小学校へ進むんだという声に聞こえます。東野幼稚園に入園してからは、皆さんは、心も身体もとても大きくなりました。自分のことは自分で出来るようになり、友だちを大切にでき、桃組、黄組の皆さんにもお兄さんお姉さんとして、とても優しくできました。また、自分で考えたことがしつかりお話できるようになったり、友達と楽しく生活出来るようになりました。』と式辞をいただきました。

「お別れのことばと歌」では、卒園児と在園児が、歌を介して送る気持ちとこれに答える気持ちを伝え合う姿がとてよく、来賓、保護者の皆さんが口々に感激の言葉を口にしてみえました。





校長先生の式辞を聴く新1年生



来賓紹介で皆さんからお祝いの言葉を聴く新1年生



好天の青空に映える桜花のもと、平成20年度の東野小学校の入学式が行われました。

保護者に伴われて、ピンクのリボンを胸に付けて緊張気味の1年生がお行儀良く前列に整列して式典がはじまりました。

着任された今村光登志校長先生から、「入学おめでとうございます。今日から東野小学校の1年生になりました。みなさんに3つの約束をして欲しいと思います。

1つは、じぶんのことはじぶんでするということ。

2つは、べんきょうしてほしいということ。

3つは、ともだちとなかよく、ということですが、

とお祝いと励ましのことをいただきました。この3つの約束は、書にして演台の前に掲げられました。

開発振興会副会長の伊藤全孝さん、恵那市議会議員の光岡克昌さん、そして東雲会会長の土方久博さんをはじめ22名の来賓の方々から、お祝いの言葉をかけていただいて、真剣に聞き入っていました。

東野幼稚園入園式

平成20年4月9日(水)。園庭の桜花が見ごろの春おだやかな日、平成20年度の東野幼稚園の入園式が行われました。

おそろいの制服を身に付け、初めての団体生活で緊張気味の園児さんたち。男子5名女子9名の計14名が、3歳児き組の園児として入園しました。



来賓の祝辞を聴く新園児たち

今年度の異動で着任された、三宅勝義園長先生から、「ご入園おめでとうございます。君たちが入園してくるのを楽しみに待っていました。

明日からお兄さん、お姉さんと、そこにいる友だちと楽しい時間がもてます。先生のお話をしっかりと聴いて、友だちを大切にしてください。」とお話をいただきました。

開発振興会会長の千藤恵三さん、恵那市議会議員の光岡克昌さん、東野小学校校長の今村光登志さんをはじめ13名の来賓がにこやかに見守られるなかで、式が進みました。

東野小学校 6 年生 卒業記念植樹

(保古の湖キャンプ場の近く)

3 月 17 日 (月) 東野小学校の卒業生は毎年、地元の森林への関心を深めようと、東野生産森林組合が管理している山林で植樹をしています。本年度は「木の国・山の国県民運動の一環で譲り受けたオオヤマザクラ・ケヤキ・ヤマザクラの苗木 40 本を植樹しました。

ヘルメットに長靴姿で、苗木を運ぶ人、スコップで土をかける人の 2 人 1 組で作業を行った。作業終了後に、卒業生の名前を彫った石碑を設置し、さわやかな笑顔で写真におさまりました。

お世話になった東野生産森林組合の役員さんや市林業振興課職員の方々へのお礼の挨拶に立った**林まい**さんは「私たちは学校で自然破壊や地域温暖化について勉強しました。今日、卒業を迎えるにあたり、植樹することができ、少しでも東野地域にお役に立てたら、嬉しいです。森林組合の皆さんを中心に多くの方に準備や世話をさせていただき、無事終わることができました。ありがとうございました。」と語りました。

(お礼文を東野小校報から引用)

森林組合の方々は、「記念の石碑に卒業生全員の記名がしてあるので、卒業後、時々山に登って、木の生長を見届けていただきたい。」と話され、卒業生からは、「いつかこの場所に来て、大きく育った木を見たい。」そんな声の聞かれた記念植樹であった。



東野小学校 児童阿木川ダムの広場に

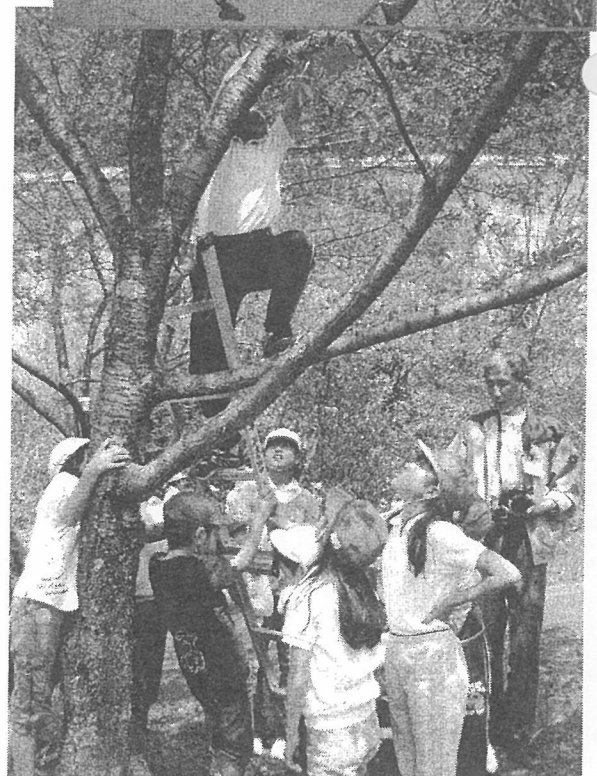
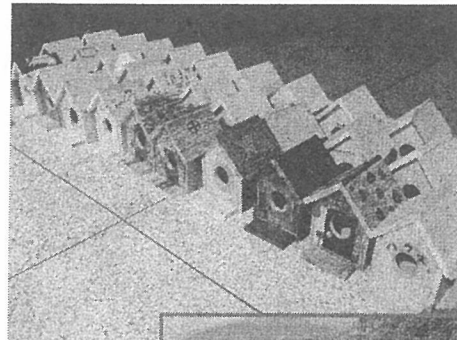
野鳥の巣箱設置

4 月 23 日、東野小学校児童が阿木川ダムの入り口広場の並木に巣箱を取り付けました。

当校の遠足は、目的地でふるさと学としてオリエンテーションを行っており、今年度はさらに環境学習の一環として、巣箱の設置を行いました。

巣箱は住民から間伐材を使った巣箱キットの寄贈を受けて、授業で組立て、色塗りも行った。

児童は 6 つのグループに分かれて広場のさくらの木などに 12 個の巣箱を取り付けました。



花無山句会 (四月句会)

いたどり
虎杖の赤き太さで運び採る

市川茶山

葉桜や幾年月経し軍事郵便

市川芳子

種芋を残せし小芋衣皮きぬかづき

伊藤道子

しばぐら老いどち見物にぎやかに

西尾美恵子

地味なれど透きて落着く山桜

土方ちかえ

一くわに蛙も老いも仰天す

松本はるか

村あげて慰霊の祭り花吹雪

千藤恵三

サークル短歌 (四月詠草)

鈴木喜一郎

うたたかのひと世と思えば胸熱し

川に降るゆき積もることなく

雪の舞う夕空を飛ぶ鳩があり

急がねばならぬ理由あるごと

満開の桃の木の根に真っ直ぐに

市川茂子

横たわる蛇そつとそのまま

畦板を張る手を休む山吹は

去年より早し田植之早まるか

水芭蕉露をほのかに押し開き

赤尾袈夫

訪ねし人らを釘付けにしおり

主無きまま年を経て荒れ果てし

田の一画に咲く蓮華草よ

ハシ休めのひとこと

【お米について】



最近、東南アジアで米が不足しているという報道がありました。日本が主食にしている、アジア系の米には現在直接影響は無いと付け加えがありましたが、バイオ燃料が注目されだした影響もあって、今後の米の生産量の動向と米価の推移が注目されるということです。

日本は欧化しているといっても米の消費国であり、生産国です。そこで米について少し調べてみました。日本は「石」(こく)という単位が、戦前まで使われていました。まことにコメに関しては、日本の食生活にピッタリの軽量単位だった。そして、コメ1石はちょうど人間1年1人分の食い扶持に当たるといいうことです。

1石=150kgを1年365日で食べると、おコメだけで1日に約1,400キロカロリー。成人の安静時の必要カロリーが摂取できます。つけ物と味噌汁しかなくても、大めしさ食べれば、でんぷんとたんぱく質も脂肪分も摂取できる。これがコメの特徴だということです。

$$\text{石} = 10 \text{斗} = 100 \text{升} = \boxed{1000 \text{合}}$$

$$1 \text{表} = 60 \text{kg} = 4 \text{斗} = 2 \text{袋} (15 \text{kg}/1 \text{袋})$$

コメ1合がおおむね1食分ですので、1石は、人1人が1年間に消費する量になります。

$$365 \text{日} \times 3 \text{合} (1 \text{日} 3 \text{食}) = \boxed{1095 \text{合}}$$

だからこそ、米食民族の日本ではコメ1石に多少のおかずがあれば1年分の食料を確保したことになります。

昔の武士や大名の処遇が「石高」で表されたのに合点がいくわけです。江戸時代初期には約250万haしか水田がなく、10a当たり200kg位しか収穫できなかったようで、現在を600kgとすると3分の1の収穫量になります。2000万人と推定されている当時の人口では、1人1石としても340万人分ほどのコメしかできない。ごく一部の人しか毎日コメのめしが食べられなかったということになります。

現代の消費量は平成7年は生産量が1049万トンで1人当たり67.8kgの消費量。16年は61.5kgで漸減傾向にあります。日本の生産基盤のある米の消費が伸びて農家がうるおうようになって欲しいものです。(水野)

参考資料 総合食料局食料部計画課

農業の雑学辞典 日本実業出版

東野体協コーナー

東野体協発行

5月2日に平成20年度総会を開催し、本年度の事業計画・予算及び役員等執行体制が決定いたしました。本年度も住民体育大会を中心に活動いたしますので、よろしくご参加、ご協力くださいますようお願い申し上げます。さて、はじめに、本年度の行事紹介をいたします。

○平成20年度行事予定

第35回ソフトボール大会 5月25日(日)
 第19回インディアカ大会 6月21日(土)
 第12回マレットゴルフ大会 7月27日(日)
 第20回レクバレーボール大会 9月13日(土)
 第4回フットベース大会 11月9日(日)

以上が体協が主催する本年度の住民大会です。この中で、大会の詳細が決定している行事についてお知らせいたします。



○第35回ソフトボール大会

日時 5月25日(日) 午前8時開会式
 場所 東野小学校グラウンド
 参加資格 小学3年生以上の東野住民
 対戦組み合わせ ①1分団と5分団②2分団と3分団③3分団上と7分団④4分団と6分団の四チームの総当たり戦

今回も、地域の交流を目的に前年の分団成績を考慮して二つの分団を合わせてチーム編成しました。なお、1試合の時間は1時間とし、午前中で終了する予定としております。小学生の参加も歓迎します。なお、大会終了後全員によるお楽しみビンゴゲーム大会予定しておりますので多くの皆様の参加を期待しております。

○第19回インディアカ大会

日時 6月21日(土) 午後6時50分開会式
 対戦組み合わせ 各分団男女各一チームで8名以上 男女別トーナメント
 参加資格 中学生以上の東野住民
 練習日 6月18日(水) 午後7時30分から

○第12回マレットゴルフ大会

日時 7月27日(日) 午前8時30分 受付
 午前8時50分 開会式
 参加資格 小学生以上の東野住民
 7月18日(金)までに東野公民館まで申し込んでください。用具のない方は体協で用意します。どなたでも参加できます。大会終了後全員による

お楽しみビンゴゲーム大会
 予定しております。

次に本年度の東野体育協会の役員を紹介いたします。

○平成20年度東野体育協会役員

▼会長 渡辺幸典(上浜井場) ▼副会長 千藤富久(南天王前) 古山千鶴子(下染戸)
 ▼理事長 西尾幸男(白坂) ▼理事 西尾昌之(北万場) 伊藤次二(中辻) 西尾克彦(上大門) 勝野真由美(白坂) 渡辺英夫(上浜井場) 西尾和之(宮の前) 伊藤光容(中辻) 伊藤隆史(北山) 松浦珠実(南中切) 伊藤忠廣(南中切) 千藤基恭(下沢) ▼監事 渡辺弘子(宮の前) 西尾真二(中島)
 ▼事務局 光岡伸康(北山) 篠原直文(上浜井場) ▼推進委員 西尾慶穂(小野川) 長谷川核三(上浜井場) 篠原政清(下浜井場) 西尾幸也(井の下西尾彰洋(南万場) 伊藤康弘(北万場) 猪野幸男(中辻) 依馬博文(下辻) 小栗千津子(白坂) 藤井昭郎(南中切) 梶田博己(北中切) 市川茂(向島) 岡本和久(下沢) 千藤茂夫(中島) 千藤隆也(南天王前) 小林一雄(北天王前) 渡辺忠義(小麦田) 伊佐地明人(宮の前) 足立明夫(上大門) 丸山公昭(下大門) 山内洋二(北山) 金子公司(南大門) 藤田敏昌(上染戸) 永野寛昌(下染戸)

各行事への参加を推進委員からお願いいたしますので協力をよろしくお願いいたします。



市民講座はじまりました

20年度前期市民講座がはじまりました。申し込み可能な講座もありますので、詳しくは東野公民館までお問合せください。

講座名・講師名	対象	曜日・時間	備考
身近な植物見て歩き 高水正夫	一般	火曜日 13:30~16:30	
アメリカンパッチワーク 橋本明日香	一般	木曜日 19:30~21:30	
旬菜料理 土方紀代子	一般	木曜日 13:30~16:00	締切
いきいき歌声講座 林 精子	一般	金曜日 13:30~15:30	
囲碁を楽しもう 伊藤 明	一般	金曜日 19:30~21:30	中止
リフレッシュ体操 吉田宏子	一般	金曜日 13:30~15:30	
かな書道 市川恵一	一般	土曜日 19:30~21:30	
おいしいおやつ作り 水野茂子	子ども	土曜日 10:00~12:00	
東野ネイチャークラブ 赤尾友和	子ども	土・日曜日 10:00~15:00	

鈴木麻友さんからのお礼の言葉
3月30日、明智町のかえでホールで行いました。ピアノリサイタルにお出かけくださり誠にありがとうございました。
皆様の暖かいご声援を頂き無事終えることができました。心から感謝いたしております。
皆様から頂きましたお言葉を深く心に留め、これからも努力してまいります。
お礼の気持ちとお礼の言葉を申し上げます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。
鈴木麻友



休館日

(変更の場合あります)

5月 7日・12日・19日
26日
6月 2日・9日・16日
23日・30日
7月 7日・14日・22日
23日・28日

編集後記

20年度恵那市民講座がスタートしました。東野の市民講座も新規講座として「身近な植物見て歩き」を開講することができました。緑豊かな東野の特徴を「緑豊か」と捉える域を少し出て、身の回りの植物の名前を知り、ひいては植生等にも関心が及べば、この思いが一段と深まるのではないかと思っています。「囲碁を楽しもう」と「ウォーク&トーク」の2つの講座が、講師の先生のご事情で前期休講となりましたが、後期復活できるよう願っています。公民館よりは、単に通常の公民館活動の紹介だけでなく、地域の広報活動の一翼を担ってまいります。

今年は、東野開発振興会役員、東野生産森林組合、東野東雲会の役員の全面改選の年に当たり、それぞれ新しい役員が決まり、それぞれの長の方と、東野小学校長、恵那市消防団東野分団長の方々と「寄稿」をいただき、掲載することができました。寄稿に対してお礼を申しあげます。有難うございました。その他、東野の各種団体、東野小学校、幼稚園のご協力をいただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

加えて、情報収集活動に努めていますが、偏りが生じることがあります。皆様方の身の回りの話題や写真など様々な情報や原稿等、お寄せいただければ幸いです。

公民館長